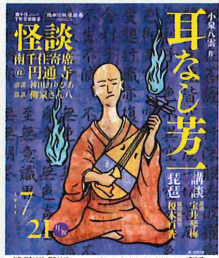


南千住ぶらり下町『音楽祭』から『芸術散歩』へ

2011年から開催してきた、南千住ぶらり下町音楽祭。整備されたコンサートホールでなく、神社や寺院、銭湯や蕎麦屋など、地域の日常空間でのコンサートと街歩きが魅力の音楽祭です。2023年からは「南千住ぶらり下町芸術散歩」が始動。講談や落語の寄席演芸、いけばなのライブパフォーマンスや、プラネタリウムに合わせたコンサートなど、多岐にわたる芸術文化表現へと展開しています。今年は南千住ぶらり下町音楽祭の他にも2つのプログラムを開催します。



怪談 南千住寄席@円通寺 「耳なし芳一」 小泉八雲作

2025年7月21日(月・祝)
開場 13:30 開演 14:00

会場 円通寺 荒川区南千住1-59-11

出演者：講談師・宝井琴梅、鶴田流琵琶・榎本百香、落語・柳家さん八、講談・神田おりびあ

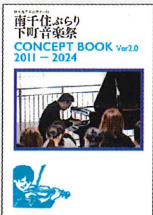


モロ師岡の 南千住おモロ噺

2025年9月15日(月・祝)
開場 13:30 開演 14:00

会場 日慶寺 荒川区南千住7-15-4

出演者：モロ師岡(俳優・コメディアン)



コンセプトブック第二弾! 無料配布中!

『音楽祭』のこれまで／『芸術散歩』への広がり／街歩きに南千住 Map／音楽祭出演者総勢 63 名のプロフィール／A5、28 頁、オールカラー

配布場所：チケット販売店、南千住の商店街協力店他

※数に限りがあり、予告なく配布終了となります。

詳しくは、公式 SNS を
check! ▶▶▶



「魔笛」ご来場に際してのご案内

- チケットは 2025 年 8 月 1 日より発売開始となります。全席自由席のご案内です。
- 出演者は都合により変更となる場合がございます。その際、変更による払い戻しは致しかねますので、何卒ご了承ください。
- 未就学児のお子様も一緒に鑑賞いただけます。膝上での鑑賞は無料ですが、お席が必要な場合は有料となります。
- お子様が泣かれてしまった際は、一度会場の外へご移動いただくようお願い申し上げます。なお、会場のスペースが限られているため、落ち着かせる際におもちゃや絵本等のご使用はご遠慮いただいております。ご理解のほどお願い申し上げます。
- 障がいのあるお客様向けのお席もご用意しております。介添えの方 1 名様まで、半額にてご鑑賞いただけます。ご希望の際は、お手数ですが事前にメールまたはお電話でご連絡ください。
- スロープの傾斜がやや急で、一段差もございますため、電動車椅子でのご入場が難しい場合がございます。通常の車椅子やベビーカーでのご来場を含め、鑑賞に関するご心配がある場合は、どうぞ事前にご相談ください。



予告 | Coming Next Year

第 13 回南千住ぶらり下町音楽祭

2026 年 10 月 12 日 (月・祝)

J.S. バッハ 2つの協奏曲

Johann Sebastian Bach,
Two Concertos

「南千住ぶらり下町音楽祭」は、確かな演奏技術と豊富な音楽経験を有する演奏家たちによるバロック音楽の魅力を堪能できる音楽祭として広く知られております。

次回、2026 年に開催される本音楽祭では、「音楽の父」と称されるヨハン・ゼバスティアン・バッハの《チェンバロ協奏曲》および《ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲》を中心としたプログラムを予定しております。

演奏には、本音楽祭ディレクターでありオーボエ奏者の渡辺佳代子をはじめ、チェンバロ奏者の長久真実子氏ほか、バロック音楽の第一線で活躍する精鋭 8 名によるコンチェルトが実現いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

西光寺 荒川区南千住 5-16-19 …

芝増上寺の末寺で、賢誉長公(1539 年没)が開いた浄土宗の寺です。本尊の阿弥陀如来は、恵心僧都源信の作と伝えられる約 1.2m の坐像で、病のある者が、笹の枝にさした白団子をお供えて祈願すれば霊験があるといわれ、「笹の団子の如来」とよばれています。

<https://www.m-saikouji.com>



●…チケット販売所

南千住ぶらり 下町芸術散歩

第12回 街が奏でる音楽の一日

南千住ぶらり 下町音楽祭

W.A. モーツァルト

オペラ「魔笛」 日本語 ハイライト

パミーナ	鶴木絵里 (ソプラノ)
タミーノ	志田雄啓 (テノール)
パパゲーノ	藤岡弦太 (バリトン)
パパゲーナ	川合ひとみ (メゾソプラノ)
夜の女王	清野友香莉 (ソプラノ)
モノスタス	志田雄二 (テノール)
ザラストロ	笠原立晃 (西光寺)
ピアノ	篠宮久徳
コレペティトル	経種美和子
MC	神月滯

音楽祭ディレクター 渡辺佳代子

2025
10/13
月・祝

時間 | 午前の部 11:00 開場 11:30 開演

午後の部 14:00 開場 14:30 開演

※午前の部と午後の部、内容は同じです。上演時間：約 90 分。

会場 | 西光寺 荒川区南千住5-16-19

料金 | 一般 3,000 円 (ACC 友の会 2,800 円)

中学生以下 1,500 円

チケット購入方法 | 来店購入 or Google フォーム or ACC チケット購入サイト

※チケット発売 2025 年 8 月 1 日～

※ACC友の会価格での販売は、ACCチケット購入サイトと町屋文化センターのみの扱いになります。

来店購入 チケット販売所

- 公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団
(荒川 7-20-1 町屋文化センター内) 03-3802-7111
- 犬竹魚店(南千住 5-36-13) 03-3801-5223
- BARBERS' SHOP AB(南千住7-11-3) 03-3802-2051

Google フォーム予約

午前の部▶



午後の部▶



ACC

チケット
購入サイト▶



問い合わせ NPO法人千住すみだ川

E-mail または、SNS のメッセージからお願いします。

npo.senju.sumidagawa@gmail.com

03-3801-3428 電話対応日時:水曜～日曜、19:30～21:00

専従スタッフがいない為、電話に出られない場合もあります。



主催 | NPO法人千住すみだ川

共催 | 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団

後援 | 荒川区、荒川区教育委員会、荒川区仏教会

協賛 | 城北信用金庫

協力 | 西光寺、南千住コッ通り商店街、南千住仲通り商店会、ジョイフル三の輪商店街振興組合、南千住六丁目日本町会商店会

助成 | アーツカウンシル東京 [地域芸術文化活動応援助成]

ARTS COUNCIL TOKYO

プログラムノート | Program Note

オペラ「魔笛」ハイライト

「オペラという形式が、かくも自由で、無邪気で、しかも真実である事を、私はモーツァルトを聞いて初めて知った。」

「モーツァルトは、オペラの中に人生を見たのである。」

「この芝居ほど曖昧な、ばかばかしい筋のものも珍しいであろう。」

だが、それが何だというのだ。このばかばかしい筋が、何といふ感動を私達に与へる事だらう。」

小林秀雄 著『モーツァルト』(1946)より

1902-1983 文芸評論家。日本における近代文芸批評の創始者。批評対象は文学だけでなく、音楽・絵画・歴史・哲学にまで及ぶ。「批評というジャンルを芸術にまで高めた」。

モーツァルトのオペラでは、登場人物たちがまるで現実の人間のように生き、愛し、悩み、笑い、泣く。

形式や技巧を超えて、人間の真実が描かれている。

「魔笛」は台本だけ見れば取るに足らない筋かもしれない。でも、モーツァルトの音楽が流れ出すと、そこに真実の人間の感情や存在感が立ち上がり、それが「魔笛」の奇跡であり、モーツァルトの魔法である。



Photo | オペラハイライト公演の様子。上から「夕鶴」(2016) ソプラノ：田中樹里「カルメン」(2018)、「カヴァレリア・ルスティカーナ」(2019) どちらもメゾ・ソプラノ：栗田真帆「椿姫」(2023) ソプラノ：奈良原蘭里、バリトン：藤岡弦太オペラ芸術監督・テノール：志田雄啓（すべて）ピアノ：篠宮久徳（2016）経種美和子（2018,19,23）オーボエ：渡辺佳代子（2019）

南千住ぶらり下町音楽祭における声楽公演は、年々その注目度を高めております。中でも、エンターテイナー・志田雄啓氏によるオペラ・ハイライト公演は、音楽祭の名物企画として多くの聴衆を魅了し続けております。

2016年の第6回音楽祭では、声楽部門の最終公演としてオペラ「夕鶴」のハイライトが上演され、大きな話題を呼びました。以降、「カルメン」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「椿姫」が次々と披露され、いずれも立ち見が出る盛況ぶりとなりました。これらの公演は、バロック音楽と並び、当音楽祭を象徴する存在となっております。

第12回となる本年の音楽祭では、これまでのご好評にお応えし、オペラ・ハイライト公演をよりじっくりとご堪能いただける機会として、モーツァルトの五大オペラのひとつであり、作曲家の最晩年に完成された傑作「魔笛」を上演いたします。

本作は、陽気なパパゲーノの登場により物語に軽やかさが加わり、オペラでありながら童話のような冒険譚として、お子様にも楽しんでいただける作品です。一方で、大人の鑑賞者にとっては深遠なテーマや象徴性を読み取ることができ、あらゆる世代に訴えかける名作といえるでしょう。また、極めて高度な技巧を要する「夜の女王のアリア」を、間近でお聴きいただける貴重な機会でもございます。今回の上演はすべて日本語で行われ、言葉の壁を越えて作品の魅力をより深くご体感いただけます。

子どもから大人まで、幅広い年代の皆様にもモーツァルトのオペラの醍醐味をご堪能いただけたら幸いに存じます。

音楽祭ディレクター

渡辺佳代子
Kayoko Watanabe

大阪芸術大学卒業。大阪狭山ソロコンクールグランプリ受賞。同大学非常勤副手勤務。1999年渡欧。ベルギー王立アントワープ・ブリュッセル音楽院で学ぶ。ディプロマ取得後、バロックオーボエに興味を持ちピリオド奏法を学ぶ。2005年帰国後、講師などを勤め、バロックでは韓国に招待されツアーを行う。又、古楽オーケストラやアンサンブルなどで活動する。2009年、墨田コミュニティプログラム助成を授与され、墨田ぶらり下町音楽祭をプロデュース。2011年より南千住ぶらり下町音楽祭ディレクター。

芸術文化普及活動 | Outreach

NPO 法人千住すみだ川では、子どもたちへの文化芸術普及活動として区内の小中学校で音楽のワークショップや出張コンサートも開催しております。写真：2024年荒川区立第三瑞光小学校



出演者プロフィールと人物相関図 | Cast Biographies and Character Relationship Chart



登場人物とあらすじ | Characters and Synopsis

《魔笛（Die Zauberflöte）》は、幻想的で寓意に富んだ物語。光と闇、愛と試練、知恵と信仰がテーマ。意味やロジックを、理解しようとするのではなく、音楽を感じ響きをお楽しみください。

◆王子タミーノの登場

若き王子タミーノは、蛇に襲われ気を失ってしまう。そこへ現れた夜の女王の侍女たちは、蛇を退治してタミーノを助ける。

◆夜の女王の依頼

タミーノは夜の女王から、「娘パミーナがザラストロという悪者にさらわれた。助けてほしい」と頼まれる。

夜の女王はタミーノに魔法の笛（＝魔笛）を授ける。

→ 旅のお供に、鳥刺し男のパパゲーノ。彼にも魔法の鈴が渡される。

◆ザラストロの真実

しかし旅を進めるうちに、タミーノとパミーナは気づき始める。ザラストロは決して悪人ではなく、「光と理性の守護者」だった。つまり、夜の女王の方が「闇の象徴」だったのだ…!

◆試練のはじまり

ザラストロは、タミーノを神殿の試練に導く。

タミーノとパミーナは、沈黙・火・水の試練などを乗り越えて、真の知恵と愛を証明しなければならない。

一方、パパゲーノは試練に不真面目。だけど彼には運命の相手パパゲーナが現れる。

◆クライマックス

夜の女王は怒り、神殿を襲撃しようとするが、光の力の前に敗れる。

◆フィナーレ

タミーノとパミーナは、見事すべての試練をクリアし、知恵と愛の勝利を得る。パパゲーノとパパゲーナも、愉快に夫婦になる。闇（夜の女王）は消え、太陽と光が世界を照らす。